

## 生き生きグループ

郷土の偉人を顕彰し

茨城県大宮町との交流を進める

## 北羽歴史研究会

市内各地区の公民館などで、歴史愛好者による学習が活発に行われています。この中で、北奥羽の文化と風土の探求を続け、大館が輩出し市民から忘れかけられている多くの偉人を顕彰する活動などを行っている北羽歴史研究会を紹介します。

会員は現在五十七人。会員による研究発表、講師を招いての講演会、北東北をはじめ北海道南部まで足を運んでの史跡探訪、会報の発行、参考図書を紹介などその活動は幅広いものがあります。



今年も、四月に大館生まれの農民作家平田小六の足跡をたどるため青森県小泊村を、七月には大館城代佐竹侯のゆかりの地である茨城県大宮町、長倉町の名称の由来となつている茨城県御前山村の長倉城址、それに十二所城代茂木氏の栃木県茂木町を訪ねています。特に、大宮町へは過去二回足を運んでおり、会の訪問などをきっかけに大宮町からの大館訪問や大館との歴史交流展が大宮町歴史民俗資料館で開催されるなど相互の交流が年々盛んになっています。会のモットーは「探訪はわいわい騒いでにぎやかに」とのこと。郷土の歴史を学ぶことは、昔を知りこれからのありかたに活かすことだといえます。ますますの活躍を期待します。

生涯学習奨励員

白根 継信さん(菅田子)

## 生涯学習フェスティバル

## よみがえる大館弁

から

大館弁の良さを次代に残すため、大館弁に関する川柳とエピソードを募集したところ、川柳は八十九点、エピソードは十四点の応募がありました。今回は、入選作品の中から主なものを紹介します。

### 川柳の部

- ・わらし子の えんちやこ 今も小屋のにぎやか (関口セイ子さん)
- ・かぐじから あがつてたんせと ぼさま呼ぶ (小棚木 幹さん)
- ・んだぼてしや けえごでひれば んだぼてし (菅原 勤さん)
- ・この次で 落どしてけて さかぶば (畠山 修一さん)
- ・物けねし 身体けねくて 頭けね (佐藤 隆昭さん)
- ・ひねやひねやて すぐにしかひる おかさべちよ (菅原 文男さん)

### エピソードの部

ネズミときりたんぼ  
二十余年ぶりにAターンしたNさん。或日友人宅にキリタンポの御馳走におよばれたとき、先客の一人、

「旨(め)なこのタンポのだし、やっぱりタンポにネズミ入らねば、とここでこのネズミ、田代だすか、阿仁のだすか、母さんどこのネズミだすか。」

「家(うじ)のおじいちゃん採ってきた、柄沢のネズミコだす。」

Nさん、口にタンポを入れようとしたが箸を置き、

「あのオネズミと言っています、天井裏走っているあのネズミだすか。」



「うにゃ、ほんだぼだ、あんだにはわがらねすな、ネズミきのこのことだす。なだけ、ああ銀茸(ぎんだけ)というきのこだすね。」

キリタンポを食べている時はネズミの話はしないでください。(奈良岡忠一さん)